

認定看護師通信 (No. 3)

今回は、摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動についてお話しします。

摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動について

当院では、摂食・嚥下障害看護認定看護師が2名在籍しています。
摂食・嚥下障害を持つ患者さんが、**一人でも多く口から食べられるようになるお手伝い**をさせていただいています。

摂食嚥下リハビリテーションの近年の動向は、多職種が専門分野を超えて交流する、**「トランスディシプリナリーチーム」**が主流となっています。

【トランスディシプリナリーとは】

チーム医療のモデルの1つで、職種での役割りにとらわれず、同じ課題に対して解決のためにチーム一丸となり活動するチーム

当院においても、認定看護師の他に医師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士などの多職種から摂食・嚥下支援チームを立ち上げ、それぞれの専門知識を用いて摂食・嚥下障害を持つ患者さんに対する支援を行っています。



摂食嚥下支援チーム活動の様子

「嚥下」は、「のど」の機能だけに着目するのではなく、**安全に食べ物が「のど」を通過するためのプロセスを、全職種が多軸的にとらえてアプローチする必要があります。**

例えば……

- ①リハビリに耐えられる身体作り → 栄養状態の改善、サルコペニアの予防
- ②食べ物の認識を可能にする覚醒状態の向上
- ③食べるための姿勢や環境の調整、高次脳機能障害への対応
- ④食事姿勢を保つための体力や耐久性の向上
- ⑤義歯の補綴による咬合の回復



次回は、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が担当します。